

12月8日（金曜日）

（第694号）

令和5年（2023年）

全木連時報



木材産業シンボルマーク

発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL <https://www.zenmoku.jp>



大会会場の写真

第五十七回全国木材産業振興大会開催（高崎市）

全国から四百七十名が参加

都市の木造化推進へ宣言決議を採択

「木を使って、サステナブルな社会を」メインテーマに掲げた（一社）全国木材組合連合会創立70周年記念第五十七回全国木材産業振興大会が、十月十九日（木）群馬県高崎市の「Gメッセ群馬」において全国から約四七〇名が参加し開催された。

第一部は、国歌斉唱の後、野



会長挨拶（菅野全木連会長）

上満正茨城県木協連会長の開会の言葉、この一年間の物語者に対する黙とうと続き、平方宏全木連副会長・群馬県木連会長から歓迎の挨拶が行われた。続いて菅野康則全木連会長による主催者挨拶、来賓として出席された宮下一郎農林水産大臣（代理）小坂善太郎林野庁次長、斉藤鉄夫国土交通大臣（代理）山下英和国交省住宅局住宅生産課長、山本一太知事（代理）津久井治男副知事、富岡賢治市長（代理）只石恵一郎農政部長が祝辞を述べられた。参列された来賓の紹介、祝電の披露、（株）ユハラ村上行成専務取締役による現地報告に続き、吉田貞裕群馬県木材青年協会会長が大会宣言（別掲）を朗読し、満場一致で決議した後、菅野全木連会長による決意表明が行われた。

第二部は、高崎市出身の落語家林家つる子氏による「真打昇進決定 林家つる子による落語講演会」と題した記念

講演が行われた。落語の演題は古典落語の「ねずみ」で、名匠と知られる左甚五郎が彫ったネズミが評判を呼び、貧乏宿から繁盛宿していく人情で、大会に相応しい「木」を題材にして巧みな話術で大会を盛り上げました。

第三部の表彰式は、松原正和全木協連会長の挨拶、青山豊久林野庁長官（代理 小坂善太郎林野庁次長）の祝辞の後、退任団体長表彰、木材産業功労者・優良組合表彰、協同組合事業功績者・優良組合表彰が行われ、林野庁長官感謝状を贈呈された島崎政敏埼玉県木協会長が受賞者を代表して謝辞を述べた。

次いで、次期開催地の柴立鉄彦鹿児島県木材協連会長から挨拶（令和六年十月三十一

日、鹿児島市開催）が行われ、東泉清寿栃木県木協連理事長が閉会の言葉を述べて、盛会のうちに終了した。懇親会には、約二百七十名が参加して盛大に行われ、上村さや香ミス日本みどりの大使の歌や群馬県の美酒が花を添えた。



歓迎の挨拶（平方大会委員長・群馬県木連会長）

受賞をお喜び申し上げます

令和五年秋勲章・褒章受章者（敬称略）

- | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 藍 | 黄 | 瑞 | 瑞 | 旭 | 旭 | 旭 |
| 綬 | 綬 | 宝 | 宝 | 日 | 日 | 日 |
| 褒 | 褒 | 单 | 双 | 双 | 小 | 小 |
| 章 | 章 | 光 | 光 | 光 | 綬 | 綬 |
| 章 | 章 | 章 | 章 | 章 | 章 | 章 |
| 高 | 島 | 古 | 田 | 伊 | 松 | 谷 |
| 島 | 津 | 場 | 鎖 | 東 | 田 | 崎 |
| 正 | 浩 | 信 | 政 | 宏 | 信 | 雄 |
| 弘 | 之 | 行 | 夫 | 一 | 功 | 雄 |
| （長 | （大 | （長 | （岩 | （京 | （德 | （福 |
| 崎 | 阪 | 崎 | 手 | 都 | 島 | 井 |

第 57 回全国木材産業振興大会

= 木を使って、サステナブルな社会を！ =

宣言決議

木材利用の拡大は、森林・林業の活性化のみならず地球温暖化防止、地方創生、国土強靱化などを通じ、豊かな暮らしや脱炭素社会の実現に大きく貢献するものであり、森林資源が充実しつつある中、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用の確立が重要な課題である。

全国各地で木造施設等が数多く建設されるようになり、都市部の建築物の木造化・木質化が進み始めている。これは木材を優先して活用する‘ウッドファースト社会’の実現に向けて、政府、与党、経済界に訴えてきた我々の活動の成果と認識している。

このような中、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」（通称：都市（まち）の木造化推進法）の施行から二年が経ち、対象を建築物一般に拡大されたことにより、関係者の信頼に基づく安全・安心な木材の安定供給体制の構築、都市の木造化・木質化の取組が官民を挙げて加速化する一方で木造住宅着工の減退が見られる。

また、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（通称：クリーンウッド法）の一部を改正する法律」が本年5月に公布され違法伐採の根絶に向けた更なる取組の強化が求められている。

今後、我々木材産業界は、合法性が確認された木材、持続性が確保された木材の利用の促進により山元に利益を還元し、再造林するための持続的な林業・木材産業の仕組み作りに率先して取り組むとともに、消費者・ユーザーの協力を得つつ、木造住宅はもとより、都市の造化を推進し、木材利用を国民運動として展開を図っていくことが重要である。

そのため、次の事項について、経済界など多様な関係者の連携の下に英知を結集して行動する。

1. 都市（まち）の木造化等木材利用を積極的に働きかけるとともに、国民理解の醸成に取り組む。
2. 持続性の確保された木材の利用及び山元への利益の還元と再造林できる体制の構築に森林・林業、建築業界と一体となって取り組む。
3. 令和七年の改正クリーンウッド法施行に向けて合法伐採木材だけが流通・利用されるように取り組む。
4. 木材産業振興のため、木造住宅の新築促進の施策を含めた予算の確保、税制特例措置の継続に取り組む。
5. 新たな木材需要を創出するため、J A S製品等、品質・性能の確かな木材供給や技術開発・普及等に取り組む。
6. 人材の育成確保を図り、木材産業従事者の労働安全に全力を挙げ、死亡災害絶滅に取り組む。

以上、決議する。

令和5年10月19日
第57回全国木材産業振興大会



来賓祝辞（小坂林野庁次長）



表彰式挨拶（松原全木協連会長）



開会の言葉（野上茨城県木協連会長）



来賓祝辞（只石高崎市農政部長）



来賓祝辞（津久井群馬県副知事）



来賓祝辞（山下国土交通省住宅生産課長）



代表謝辞（島崎埼玉県木材協会会長）



記念講演（落語家 林家つる子）



大会宣言（吉田群馬県木材青年協会会長）



現地報告（村上（株）ユハラ取締役）



司会（新木睦子）



みどりの大使（上村さや香）



閉会の言葉（東泉栃木県木協連会長）



次期開催地挨拶（柴立鹿児島県林材協連会長）

第十五回
新たな「木材利用」
事例発表会

日時：令和六年一月二十九日
（水）13：30～16：00

場所：木材会館 七階ホール
（江東区新木場二一八
一八）

主催：（一社）全国木材組合連
合会

木材利用推進中央協議会
定員：一五〇名
（一般消費者、建築・設
計、木材関係者等）

第五十八回全国木材
産業振興大会
（鹿児島大会）

期日：令和六年十月三十一日
（木）

場所：鹿児島市民ホール
鹿児島県鹿児島市
（懇親会会場：鹿児島サン
ロイヤルホテル）

☆木材利用促進のため、
大勢の参加で大会を
盛り上げよう！



全木連 退任団体長感謝状



全木協連 退任団体長感謝状



全木連 林野庁長官感謝状 (1)



全木連 林野庁長官感謝状 (2)



全木連会長表彰 (代表者 松井群馬県木連理事)



全木協連会長表彰 (代表者 鉦田茨城県木連副理事長)



懇親会の様子



乾杯

前大会以降
退任団体長感謝状
名簿（敬称略）

○全木連会長感謝状

青森 齋藤 千葉 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
宮城 千葉 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
福島 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
静岡 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
兵庫 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
徳島 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
青森 齋藤 千葉 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
宮城 千葉 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
福島 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
静岡 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
兵庫 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
徳島 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功

○全木協連会長感謝状

青森 齋藤 千葉 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
宮城 千葉 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
福島 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
静岡 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
兵庫 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功
徳島 伊藤 谷崎 伊藤 谷口 幸三 功

全木連
創立70周年記念
木材産業功労表彰
者・優良組合表彰
名簿（敬称略）

○林野庁長官感謝状

宮崎 高嶺 清二
北海道 山形 松田 賢久
山形 松田 賢久
栃木 堀田 純正
群馬 小坂 裕一 夫
島崎 政敏
高橋 秀行
青木 芳郎
吉川 芳郎
青木 芳郎
米澤 政幸
今井 久喜
伊藤 晴康
竹内 喜陽雄
小川 宜久
中塚 一裕
三島 英揮
佐藤 克志
和善 行

○全木連会長表彰状

北海道 伊藤 喜美雄
伊藤 喜美雄
高橋 伯奉
宮城 小泉 幸彌
秋田 田口 宗弘
山形 小関 一也
茨城 川井 顯一
群馬 岡田 隆治
松井 澄信
宮島 義和
石井 充
寺田 肇
南部町森林組合
小泉 勝
喜多利 光
齋藤 晴秀
小山 源之輔
野村 一己
梅田 孝
宮野尾 宏

協同組合事業
功績表彰者・
優良組合表彰
名簿（敬称略）

○全木協連会長表彰状

静岡 大槻 正隆
森田 茂隆
高橋 秀樹
式守 正光
菅沼 基義
森司 啓介
莊司 健
藤田 剛士
西上 光二
吉原 隆
吉田 明夫
前重 亮
貝本 幸彦
武本 哲郎
三辻 博良
熊谷 國良
久保 悦次
今坂 幸一
堀内 義美
宮崎 大分

伐って使って 森林を守る
国産材活用運動推進協議会
全木連は、国産材を活用し
日本の森林を守る運動に
取り組んでいます。
http://www.kokusanzaikatuyo.jp/

岩手 鈴木 光潤
森谷 誠一
竹澤 洋元
沖田 誠一
銚田 樹一
渡辺 義秋
大淵 孝治
岡部 孝明
山田 裕二
窪田 幹明
村松 幸彦
神谷 幸一
一力 秀造
廣江 良行
中原 敏博
協同組合スパー
ウツデイシステ
石松 勇志
寺山 修一
小野 靖光

全木連・全木協連 臨時総会開催

（一社）全国木材組合連合会、全国木材協同組合連合会、（一社）木材産業退職金共済会の臨時総会・理事会が、十一月二十一日（火）、木材会館（東京都江東区新木場）で開催され、全国から会員が参加した。総会に先立ち、午前には正副会長会議が開催され、総会の進め方等について議論が行われた。



全木連では、臨時総会において役員（理事、監事）の選任、理事会において令和5年度業務執行状況報告、役員（副会長）の選任についての決議が行われ承認された。

全木協連では、臨時総会において役員（理事）の選任、理事会において令和5年度中間事業報告が行われ、承認された。

本退共では、理事会において令和5年度業務執行状況報告が行われた。

臨時総会等終了後、情報交換会を開催し、国土交通省原田佳道住宅生産課木造住宅振興室長から令和6年度予算概算要求の概要・木造住宅・建築物の振興について、岡野大志住宅局参事官（建築企画担当）付企画専門官から、建築基準法・建築物省エネ法改正法制度についての説明の後、林野庁から鈴木清史木材産業課上席木材専門官から令和6年度予算概算要求及び、令和5年度補正予算概算要求の概要について、三上善之木材利用課長からは、クリーンウッド法の見直し等についての説明が行われた。引き続き質疑応答に移り、活発な意見交換が行われた。

令和5年度補正予算要望 及び令和6年度予算等に 関する要望

令和五年十一月二十二日（水）、菅野康則全木連会長並びに松原正和全木協連会長は、自民党の国会議員（35名）に対し、国産材を広く建築事業者に使用してもらえるよう先進的な木材加工施設の整備や非住宅建築の木材需要拡大等に係る国の支援について要望した。

（要望の内容）

- ① 住宅等木材需要の拡大、
- ② 木材加工施設、乾燥機の整備に関する支援、
- ③ 技能研修制度等労働力の確保と労働安全対策の強化、
- ④ 供給力強化のためストック機能に対する



（自）中谷 元 議員に要請

支援、⑤ JAS構造材の普及拡大への支援、⑥ 技術のオープン化、調達の一合理化への支援、⑦ 燃料、電力料金の高騰対策と軽油取引税の課税免除の特例措置を延長

外国人技能実習評価試験 実施機関に認定

当会は、令和元年から製材部門への外国人技能実習制度の導入に向けて検討を始め、令和五年六月十四日に厚生労働省等へ技能実習評価試験実施機関等の認定申請書を提出し、十月三十一日に認定を受けました。

今後、これを受けて準備が整い次第、製材作業に係る技能実習評価試験等の業務を開始します。



本郷副会長



認定書

令和五年度木材利用優良
施設等コンクール表彰式
の開催

木材利用推進中央協議会は、
木材利用の拡大や特色ある施
設等を対象として、コンクー
ルを開催し、優良な木造・木
質化施設を表彰してきた。

本年も多数の素晴らしい作
品の応募があり、その中から
特別賞などに選定された作品
を表彰する式典が令和五年十
月三十日（月）に木材会館（東
京都江東区）において開催さ
れ、会場及びオンラインで約
220名に参加いただいた。
式典では、「優良施設部門」の
内閣総理大臣賞をはじめとす
る特別賞14作品が表彰され、
それぞれの受賞者と授与者に
よる記念写真の撮影が行われ
た。



表彰式（内閣総理大臣賞：授与者は
舞立農林水産大臣政務官）

受賞施設

〔優良施設部門〕

○内閣総理大臣賞（1点）

○岡山大学共有共創 commons
（OUX オークス）（岡山県）



〔農林水産大臣賞（1点）〕

○小鹿野町役場（埼玉県）



〔文部科学大臣賞（1点）〕

○中津川市立福岡小学校（岐
阜県）



〔国土交通大臣賞（1点）〕

○徳島県新浜町団地県営住宅
2号棟（徳島県）



〔環境大臣賞（1点）〕

○水戸市民会館（泉町1丁目北
地区再開発ビル）（茨城県）



〔林野庁長官賞（3点）〕

○銀座高木ビル（東京都）



○神戸市中央区役所・中央区
文化センター（兵庫県）



○立命館アジア太平洋大学
Green Commons（大分県）



〔木材利用推進中央協議会会長
賞（3点）〕

○陸前高田市立博物館（岩手
県）

○みえ森林・林業アカデミー
棟（三重県）

○香美市立図書館 かみーる
（高知県）

〔審査委員会特別賞（3点）〕

○枝幸町認定こども園（北海
道）

○愛媛県立新居浜病院（愛媛
県）

○睦モクコンビル（長崎県）

※国産材利用推進部門は応募総数が少なく、本年は
審査を行わず、賞の決定も行わなかった。

景況調査

令和5年10月分集計表

()内は実数

〔流通部門〕

モニター数140 回答93 回収率66%

〔製造部門〕

モニター数136 回答99 回収率73%

・当月の状況

販売量	増加26% (24)	変わらず50% (46)	減少24% (22)
仕入量	増加26% (24)	変わらず48% (44)	減少26% (24)
販売価格	上昇8% (7)	変わらず82% (75)	下降11% (10)
仕入価格	上昇13% (12)	変わらず76% (70)	下降11% (10)

・当月の状況

販売量	増加32% (31)	変わらず55% (54)	減少13% (13)
仕入量	増加27% (26)	変わらず60% (59)	減少13% (13)
販売価格	上昇11% (11)	変わらず77% (75)	下降12% (12)
仕入価格	上昇28% (27)	変わらず67% (66)	下降5% (5)

・来月の見通し

販売量	増加16% (15)	変わらず67% (62)	減少16% (15)
仕入量	増加12% (11)	変わらず66% (61)	減少22% (20)
販売価格	強含み18% (17)	保ち合い77% (71)	弱含み4% (4)
仕入価格	強含み20% (18)	保ち合い77% (71)	弱含み3% (3)

・来月の見通し

販売量	増加26% (25)	変わらず66% (65)	減少8% (8)
仕入量	増加28% (27)	変わらず62% (61)	減少10% (10)
販売価格	強含み17% (17)	保ち合い78% (76)	弱含み5% (5)
仕入価格	強含み32% (31)	保ち合い64% (63)	弱含み4% (4)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	47% (32)	38% (26)	15% (10)
南洋材	11% (6)	84% (48)	5% (3)
北洋材(欧州材を含む)	13% (8)	70% (43)	16% (10)
国産材	16% (13)	71% (58)	13% (11)
建材	19% (12)	76% (48)	5% (3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	53% (17)	38% (12)	9% (3)
南洋材	9% (2)	83% (19)	9% (2)
北洋材(欧州材を含む)	37% (11)	57% (17)	7% (2)
国産材	24% (22)	54% (49)	21% (19)

・プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	36% (21)	59% (34)	5% (3)

・プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	40% (16)	48% (19)	13% (5)

独立行政法人 農林漁業信用基金

林 業 信 用 保 証



林業・木材産業を営む方を
公的な保証でサポートします。
お気軽にご相談ください。

<お問合せ先>

林業信用保証管理部：03(3434)7825

【受付時間：9時～17時】

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>



好評発売中!

製材作業の入門書、外国人技能実習の参考書

○ 製材作業の基礎

A4版 107頁程度 定価 3,000円 (消費税込み)

- ・主な内容
 - 木材の性質から、製材作業の工程、木材乾燥、作業安全などについて分かりやすく解説。安全関係では「農林水産業・食品産業の作業安全のための規範」も収録。
- ・執筆者等
 - 服部順昭氏(東京農工大学名誉教授)が推薦。桃原郁夫氏(森林総合研究所関西支所長)、村田光司氏(日本木材加工技術協会専務理事)、赤松明氏(ものづくり大文学長)外、製材関係の研究者・技術者陣が執筆。

○ 木材加工・外国人技能実習100問(機械製材)

A4版 56頁程度 定価 2,000円 (消費税込み)

- ・主な内容
 - 外国人技能実習に必要な木材や製材機械についての知識、製材作業や安全衛生を一问一答方式で取りまとめ。各章ごとに参考問題(1～2号実習生を対象)を掲載し、併せて機械製材作業の資料を収録。
- ・執筆者等
 - 全国木材組合連合会で「製材作業の基礎」を基本として、学識経験者(大学、森林総研、業界団体)の協力を得て編集。



(ご購入について)

全木連ホームページから購入申込書ダウンロードし、必要事項を記入の上、全国木材組合連合会 技能実習評価試験事務局にメール(ginou@zenmoku.jp)、もしくはFAX(03-3580-3226)にて注文してください。